

～9人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



# 町政を問う

一般質問

## 9月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、町の政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	多発する自然災害にきめ細かな対応を	11
	児童生徒の体力低下が心配だが	
佐藤 定男	「いじめ」根絶に何が重要か	12
浅野 富男	個人による原発損害賠償請求に町の支援を	13
渡辺 勝弘	桃のトップセールスの成果は	14
阿部 泰藏	臨時・嘱託職員の待遇改善を	15
村上 晴夫	農業と連携した観光事業で町の活性化を	16
	第5次国見町振興計画の進捗状況は	
東海林 一樹	女性100人応援団は継続すべきだ	17
	道の駅の進捗状況は	
井砂 善榮	国見は桃生産、全国一の町だが	18
	あんぼ柿再開時の新たな費用負担は	
	岩淵遺跡の屋根の傷みがひどいが	
渋谷 福重	自主防災会独自の取り組みに支援を	19

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

# Q 多発する自然災害にきめ細かな対応を

## A 地域防災計画を見直す

**問** 今年度の町の総合防災訓練のねらいと概要は。

**町長**

東日本大震災程度地震を想定した効果的な訓練を行う。そのため避難訓練・避難所開設・初期消火・救出・救助訓練・情報収集伝達訓練など数多くの訓練を実施する。

**問**

東日本大震災の体験から特に食糧・水・燃料などの確保が重要である。備蓄の現状は。

**課長**

アルファ0食、乾パン3100食、保存水500ml換算で4700本を備蓄している。ガソリンなどの燃料は、備蓄が困難

**問**

東日本大震災のため町内ガソリンスタンドとの連携により確保したい。備蓄には限りがある。各家庭での備蓄が重要では。

**課長**

町が配布した防災マップで1人1日3ℓの水を最低3日間分と非常食3日分を含む7日分程度の食糧の備蓄を呼びかけている。

**問**

大震災では発電機がなく困った。このような経験はどう生かすのか。

**課長**

東日本大震災検証委員

員会を設置し検証を行い、地域防災計画の見直しをする。

**問**

全国各地で豪雨による土石流等が発生している。町内にも危険箇所がある。防災マップの配布だけでなく町内会長や自主防災会長に具体的な説明をすべきでないか。

**課長**

今後、地域防災計画の変更に伴い防災マップの改定がある。その際、是非とも説明会を開催し周知を図っていく。

**問**

各家庭の防災無線で電池がないなどで受信できないものが多いと聞く。自主防災会を活用して点検をしようか。

**課長**

自主防災組織など関係する方々と協議を進めていく。

## 児童生徒の体力低下が心配だが

**問**

「県内の児童生徒の体力低下が顕著」と報道された。町内の児童生徒はどうか。

**教育長**

体育の授業の充実や屋内外で遊べる環境

**問**

体育の授業以外の様々な学校生活で体力向上を図ることが必要ではないか。

**次長**

休み時間やマラソン大会など体育行事の工夫改善を図っていく。

**問**

体力向上には保護者との連携も欠かせない。どう連携を図っていくのか。

**次長**

早寝早起き、朝ご飯、手洗い・うがいなど望ましい生活習慣づくりを家庭とより一層連携し確立していく。



元気に走って体力向上(国見小運動会)



松浦常雄議員